



# -スポーツツーリズムを核とした- まちづくりプロジェクト

宇都宮大学地域デザイン科学部コミュニティデザイン学科3年

木村 結菜・保土沢 結梨・山崎 智哉

宇都宮大学地域デザイン科学部コミュニティデザイン学科准教授

鈴木 富之



# 1. 活動の背景と目標

アウトドアアクティビティに着目した  
モニターツアーの開発



那須塩原市より  
大学との連携の相談



那須塩原市との  
勉強会の実施



スポーツを楽しむ  
仕組みの開発



モニターツアーの  
企画・実施

2022年度

2023年度

那須塩原市より、  
大学と連携してス  
ポーツツーリズム  
を盛り上げたいと  
相談を受けた。

部活動を行う大学  
生に協力を仰ぎ、  
部活合宿について  
情報共有し意見交  
換を行った。

普段スポーツを  
行わない若年層  
にもスポーツを  
楽しんでもらう  
ための仕組みを  
開発する。

調査を基に、モ  
ニターツアーを  
企画・実施し、  
その効果や結果  
の分析を行う。

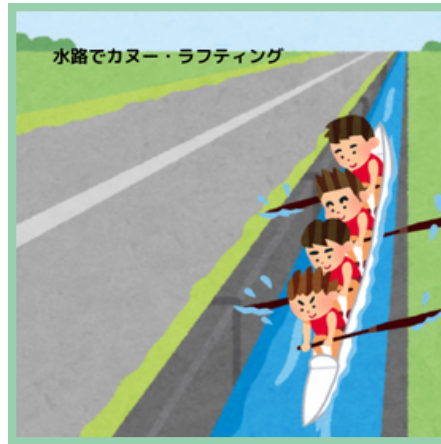
# 2. 考えたアクティビティ

地域の特産物や  
地域課題を盛り込んだもの

### 牛乳瓶でモルック



### 水路でカヌー・ラフティング



### 凍った田んぼでスケート



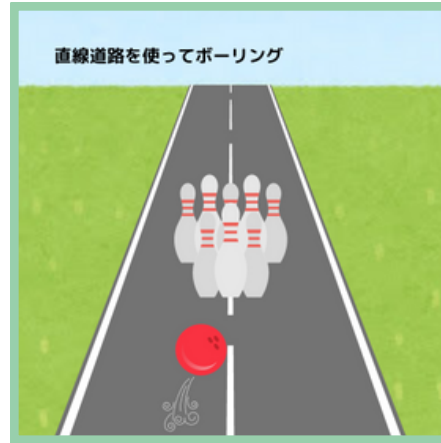
### 乗馬・流鏝馬



### おかもち 宅配レース



### 直線道路を使って ボーリング



### 牧場で乗用芝刈り機に 乗ってゴーカート



### 鳥獣害対策ルートで マウンテンバイク



# 3. モニターツアー実施

地域団体と連携して  
ツアーを企画・実施

## 参加者

宇都宮大学 学生3名

木村結菜、保土沢結梨、山崎智哉、土崎雄祐  
葛原希、野原康弘 (プロジェクトメンバー)

## ツアー内容

1日目 e-バイク体験  
芝刈りカート体験  
ベースキャンプで地域交流

2日目 太極拳  
振り返り





## 4. 参加者・企画者のコメント

### ツアーの感想

自然の癒しとアクティビティの楽しさがなにより印象的だった！

芝刈りは立ちながらコントロールする感じがSFぽくて楽しめた。

「パトロール」という意識が良い。すれ違う人との挨拶も心地よかった。都市部ではできない。

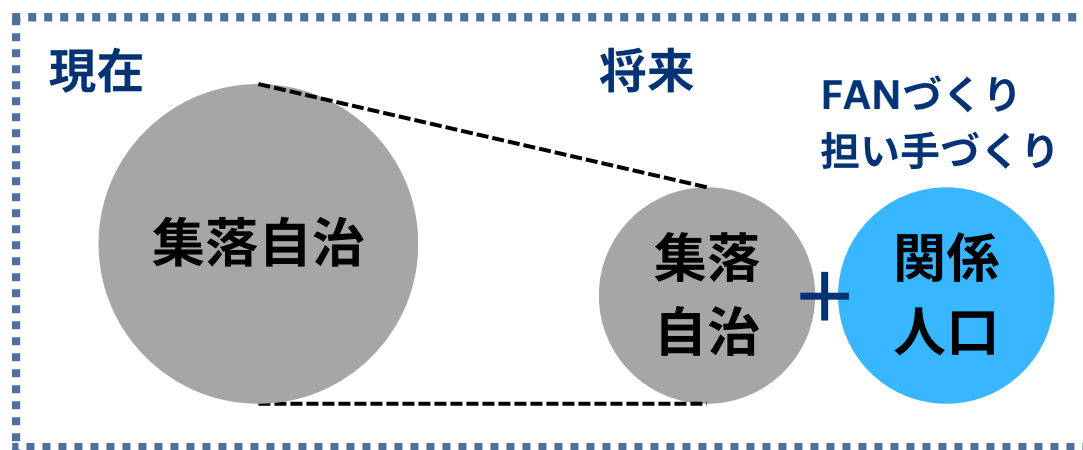
### 地域の課題

山の管理のむずかしさ。  
人がいなくなる将来どうなるのか？

## 5. FANづくり・担い手づくりの必要性

ツアー開発  
以前の課題

里山を適正に維持管理できる地域づくりを行うためには？



まずは、アクティビティツアーに参加する人に  
地域のFANになってもらう！

モニターツアーをサポートするガイドブック（紙媒体）の作  
成し、地域団体に活用してもらう。

## 6. ガイドブックの制作について

地域の背景やお話を聞きながら周れたのがよかった

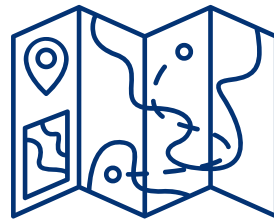
地域のお話を聞いても、帰った時には忘れてしまう



地域の逸話や習慣を記載  
より地域を **知る**

対象地域は自転車で周るのに最適な土地

今自分がいる場所がどこか分からない



頻繁に使うルートに記載  
自分がいる・回った場所が **分かる**

自転車での移動でも持ち運べる大きさがいい

冊子がぐちゃぐちゃになると持ち帰ろうと思わない



持ち運びやすいサイズに  
持ち帰って保管でき、 **振返る**

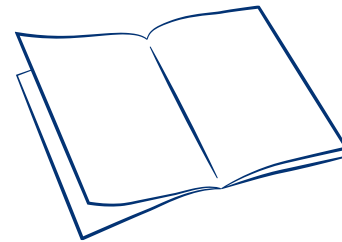
# 6. ガイドブックの制作について

## - 冊子の中身とそのねらい

- 配布対象：ツアー参加者
- 配布時期：ツアー開始前

### 表面（地域の情報）

1. 地域の概要
2. 秋冬の服装
3. 地域に生息している野生動物



A3用紙8つ折り

### 裏面（地域のマップ）

4. 地域のルール
5. アクティビティのコースの説明
6. 野生動物の大まかな出没場所

### ねらい1. 参加者サイド

ガイドへ質問をしたくなるようなきっかけを作る

- 逸話やゆかりの場所をマーク
- 地域の基本的な概要や動物の情報を“少しだけ”掲載

### ねらい2. ガイドサイド

ガイドをする際の補助教材になるような冊子にする

- マップ上にアクティビティで使用される道を記載
- ルート上の注意点の解説



# 6. ガイドブックの制作について

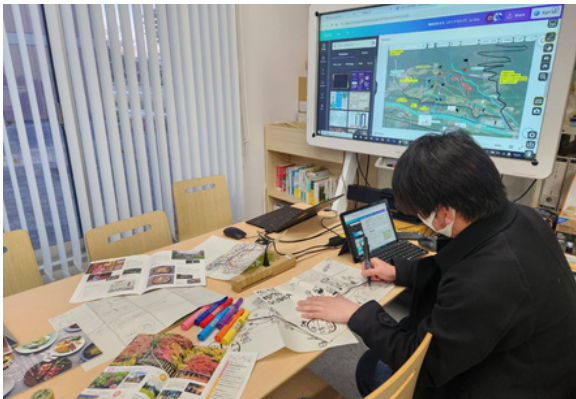
手元に持ちながら見て周れる、  
帰った時も振り返られるような冊子の作成



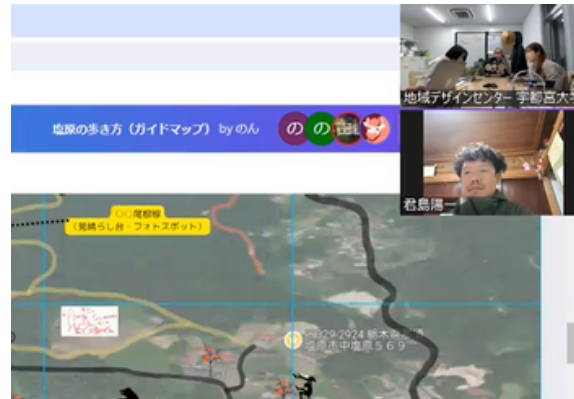
12月～1月

1月15日

1月22-23日



冊子の中身の検討



関係者との  
オンライン打ち合わせ

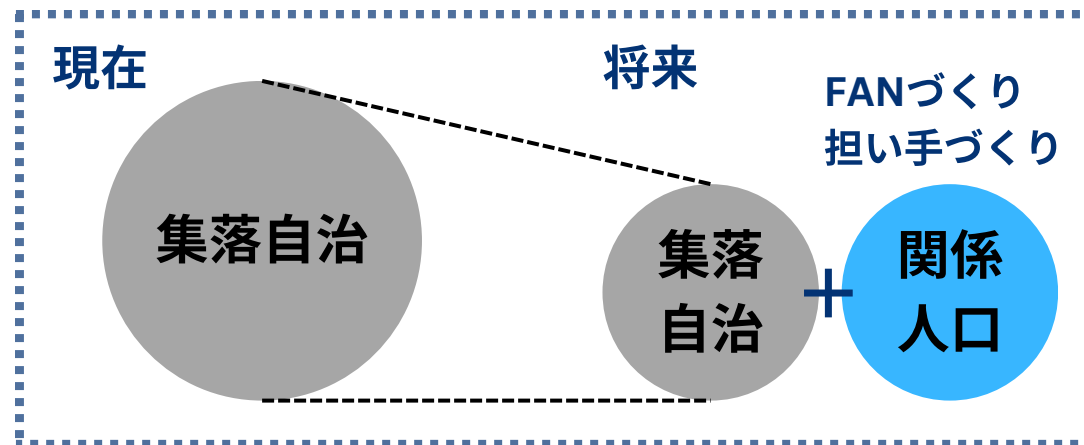


再度、現地ヒアリング  
外部講師による勉強会

## 8. 次年度以降の動き/目指す姿

### 目指す姿

スポーツツーリズム（ひとつの手段）を運用しながら里山を適正に維持管理できる地域



スポーツツーリズムを契機とした  
「FANづくり・担い手づくり」

### 次年度以降の動き

- ①作成したマップの活用
  - ・マップの使用感
  - ・課題を抽出・改善

- ②スタディーツアーの開発  
アウトドアアクティビティと地域課題を結びつけたツアーの企画・運用